

2024年4月16日（火）発表  
愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学  
芸術情報・広報課（担当：池田・木村）  
Tel.0561-76-2873 / Fax.0561-62-0083  
E-mail. geijo@mail.aichi-fam-u.ac.jp

## つづき りょうこ個展「Layer」

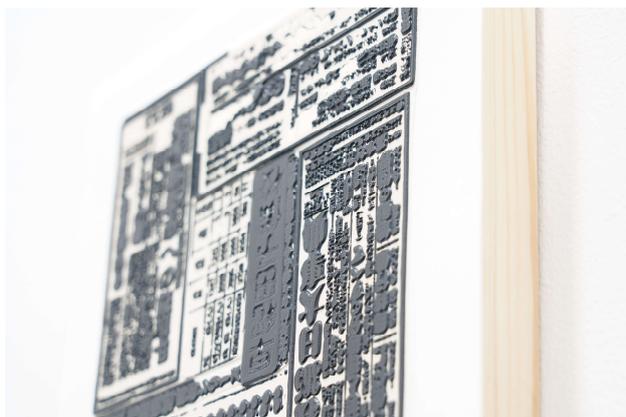
ネットスラングの一つに『擦る』というものがある。もともと『擦る（こする）』とは、『物に押し当てたまま繰り返し動かす』という意味で使われる動詞だ。これが漫才業界の中で『同じネタやギャグを何度も使う、複数回披露する』という意味で用いられるようになり、それがネット上で広まり『何かを繰り返す』という意味で幅広く使われるようになった。

私の作品のほとんどはシルクスクリーンという、版画の中でも特に『孔版画』と呼ばれる技法を用いて作られたものだ。私はポリエステル製の合成繊維の上に描かれたイメージの上にインクをのせ、スクイージーと言われるゴム状のヘラで何度も『擦る』。私はその何度もインクを『擦る』行為にネットスラングの『擦る』という言葉想起し、それと同時に社会に大きな影響を与えた出来事の多くが年を経ても反芻され『擦られている』(この言い方は不適切かもしれないがここではあえてそう明記する)ことを想起した。そしてその『擦る』行為が、社会にとっては必要だからこそされているということも。

私はずっと社会と自分との間に漠然とした『距離感』を感じていた。だから私はそれらを俯瞰的に・多角的に眺めるため何度も『擦り』、物質として可視化する。私が感じている距離感こそが私にとって最もリアルな感覚であるから。

出来上がった作品は、『社会で起きた出来事と私が感じている距離感』を物理的に立ち表す。この行為は私自身の『認識』と『自覚』の為の作業である。そして私はこの作業によって、私も知らない誰かの『自覚』の一助になればいいと思っている。

つづきりょうこ（作家ステートメントより引用）



このたび、サテライトギャラリーSA・KURAでは、本学大学院油画・版画領域の修了生 つづき りょうこの個展「Layer」を開催します。

つづきは大学時代より、シルクスクリーンを用いて数ミクロンの色面が幾度も刷り重ねられることで「色」が物質として立ち現れるような絵画を制作してきました。今回の展示ではつづきが現在のスタイルになるきっかけとなった作品として、優秀作品賞を受賞して本学に収蔵された自身の修了制作を展示、そこから繋がる現在への流れとして最新作数点を展示します。

多くの方にご覧いただきたく、是非ともお取り上げいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

タイトル つづき りょうこ個展「Layer」

会場 愛知県立芸術大学 サテライトギャラリーSA・KURA

住所: 〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜 1-9-19 成田栄ビル地下 1 階

Tel: 052-212-9316 E-mail: satellite-gallery@mail.aichi-fam-u.ac.jp

URL: <https://aua-sakura.com/index.html>

主催 愛知県立大学法人 愛知県立芸術大学

展示期間 2024年5月11日(土)～6月2日(日) 月曜休廊

開廊時間 12:00～19:00

観覧料 無料

問合せ 愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課 Tel: 0561-76-2873

SA・  
KU  
RA  
AUA GALLERY



伊勢現代美術館での個展風景 2019年

#### つづきりょうこ 略歴

1994年愛知生まれ、2019年愛知県立芸術大学大学院油画・版画領域修了。

#### 主な展覧会

2023年「境界の隙間で Gap in boundary」(アートラボあいち / 愛知)

2019年個展「すきまからみる」(Lights Gallery / 愛知)、「3331 ART FAIR」(アーツ千代田 / 東京)

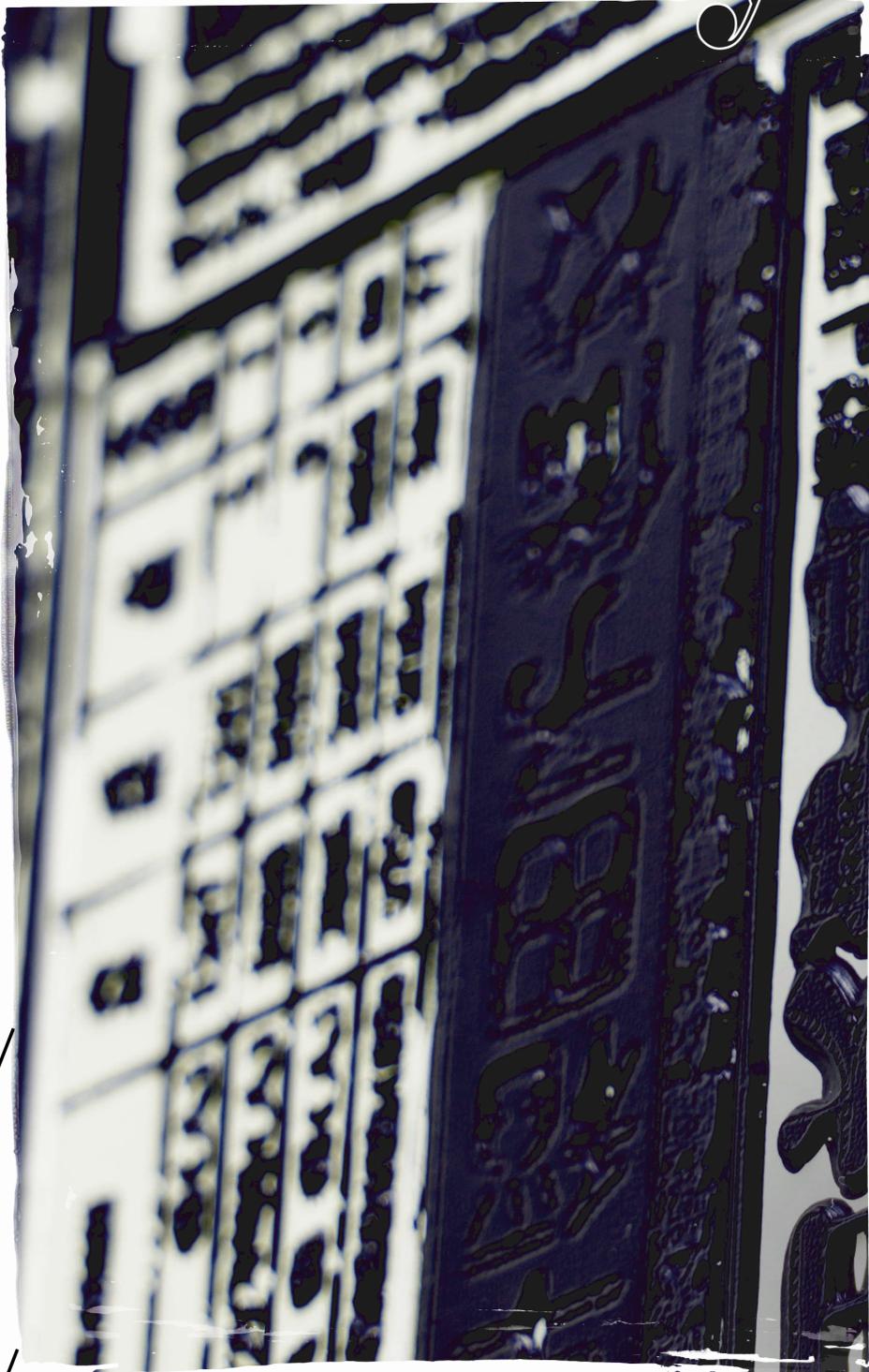
2018年「メソッドの考察」(学食 2F / 愛知)

2017年「LagrangianPoint-Drive on the Half Way-」(Gallery PARC / 京都)、個展「spectrum」(YEBISU ART LABO / 愛知) など。

受賞歴として、平成30年度 愛知県立芸術大学優秀作品賞受賞(修了制作 / 愛知県立芸術大学芸術資料館収蔵 / 2019年)

# Layer

つづきりようこ個展



2024  
**05/**  
**11**  
(sat)

—  
2024  
**06/**  
**02**  
(sun)

 愛知県立芸術大学

ネットスラングの一つに『擦る』というものがある。元々、『擦る(こする)』とは『物に押し当てたまま繰り返し動かす』という意味で使われる動詞だ。これが漫才業界の中で『同じネタやギャグを何度も使う、複数回披露する』という意味で用いられるようになり、それがネット上で広まり『何かを繰り返す』という意味で幅広く使われるようになった。

私の作品のほとんどはシルクスクリーンという、版画の中でも特に『孔版画』と呼ばれる技法を用いて作られたものだ。私はポリエステル合成繊維の上に描かれたイメージの上にインクをのせ、スクイージと言われるゴム状のヘラで何度も『擦る』。私はその何度もインクを『擦る』行為にネットスラングの『擦る』という言葉想起し、それと同時に社会に大きな影響を与えた出来事の多くが年を経て反芻され『擦られている』(この言い方は不適切かもしれないがここではあえてそう明記する)ことを想起した。そしてその『擦る』行為が、社会にとっては必要だからこざされているということも。

私はずっと社会と自分との間に漠然とした『距離感』を感じていた。だから私はそれらを俯瞰的に・多角的に眺めるため何度も『擦り』、物質として可視化する。私が感じている距離感こそが私にとって最もリアルな感覚であるから。

出来上がった作品は、『社会で起きた出来事と私が感じている距離感』を物理的に立ち表す。この行為は私自身の『認識』と『自覚』の為の作業である。そして私はこの作業によって、私も知らない誰かの『自覚』の一助になればいいと思っている。

(作家ステートメントより引用)



SA·  
KU  
RA  
AUA GALLERY

つづきりょうこ個展「Layer」

2024年5月11日(土) - 2024年6月2日(日)

12:00~19:00(月曜休廊) 入場無料



愛知県立芸術大学サテライトギャラリーSA·KURA  
名古屋市中区東栄 1-9-19 成田栄ビル地下1階  
TEL 052-212-9316

<お問合せ>愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課 Tel.0561-76-2873(平日9:00~17:30) <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/>